



## 今回は、2 年 2 組 1 班によるフラマンフィールドワークの報告をします。

### ◇flamant(フラマン)を訪問しフェアトレードについて学びました！

日 時： 2018 年 8 月 6 日(月) 13:00~15:00

訪問先： flamant(フラマン) 岐阜市長良

内 容： フェアトレードについてのお話を聞いた

参加者： 久保寺真琴 足立萌音 大泉恵莉 辻龍成 宮寺匠 波多野ひな

### ◇フェアトレードとは何か

フェアトレードとは発展途上国の原料を適正な価格で購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す活動のことです。現在発展途上国では少ない種類の商品作物の利益に依存しており、一定の利益が得られず貧困状態に陥っている生産者や労働者が多くみられます。それを解決するためにフェアトレードが重要な役割を果たしているのです。

今回訪問させていただいたフラマンさんでは、店主の高橋純子さんがお気に入りのフェアトレード商品を自ら取り寄せ販売しているということでした。高橋さんは「フェアトレード商品は通常の商品より高い分、品質が良く作り手の皆さんの気持ちがこもっているものばかりです。フェアトレード商品を買うことで、買い手は良い品質のものを手に入れることができ、売り手はそれに見合った給料を得ることができるなどお互いに良いことがあるのですよ。」とおっしゃっていました。



### ◇ 私たちの感想

フェアトレードの日本での認知度はおよそ 3 割、フェアトレード商品を買う人の割合はさらに低く 1 割しかない、という現状を知って日本ではまだまだフェアトレードというものが浸透していないと感じました。それと同時にフェアトレード商品は身近なところにもあり、コーヒーやチョコレート、フルーツなどの食品、衣類や化粧品などの生活用品といったものがあることも学びました。私たちは今回のフィールドワークで学んだことを広めていき、もっとフェアトレードを知ってもらいたいと思いました。



SDGsのロゴより



## 今回は、2年2組3班による関市役所高齢福祉課 介護老人施設特別養護老人ホームへのフィールドワークの報告をします。

### ◇関市役所を訪問し、介護保険について学びました！

日時：2018年7月26日(木) 2018年8月10日(金)

訪問先：関市役所高齢福祉課 介護老人施設特別養護老人ホーム

内容：介護保険 介護者の人手不足

参加者：青山萌々子 神谷雪乃 北村明日叶 須甲梨央奈 藤吉沙羅  
貴島芽生 後藤耀葉

### ◇フィールドワーク報告



フィールドワークで、人手不足が深刻ということが分かった。

人手を増やすことで介護士に余裕ができ、その介護を受ける人も安心することができるだろう。そこで私たちは人手不足を解決するために、3つの解決方法を提案する。

- ・介護の講習会を開いて仕事などで忙しくない人に参加してもらい、身内で介護を行うことで介護施設に頼る人を少なくして介護士の負担をへらす。
- ・介護士を兼業することをお勧めする活動をする。
- ・資格がなくても手伝いをする人を雇うことで、介護士の負担を軽減する。

### ◇ 私たちの感想

- ・ネットで調べて、介護職員が不足している事は知っていたが、自分の身近な地域でも不足している事に驚いた。
- ・介護をする人と介護される人だけの問題ではなく、かかわらない人もこの問題について考える必要がある。



SDGsのロゴより

## 今回は、2年2組4班による岐阜県ユニセフ協会フィールドワークの報告をします。

### ◇ 岐阜県ユニセフ協会を訪問し、世界の教育について学びました！

日時：2018年7月26日(木) 10:00~13:00

訪問先：生活協同組合コープぎふ 岐阜県ユニセフ協会 各務原市鷺沼各務原町

内容：世界の子ども教育について

参加者：西部みらい 林倫花 長瀬美羽 青山琴葉 後藤杏子

### ◇ 世界の教育・子どもたちの生活は



私たちは岐阜県ユニセフ協会を訪問し、世界の教育の現状や、子どもたちの生活、それらの問題に対してユニセフが行なっている活動について教えていただきました。

世界には学校に行けない子どもたちが5700万人、読み書きができない人が7億7500万人存在しています。このような現状から、子どもたちに役立つ教育を受けられるような支援をしています。



ユニセフでは貧困によって教育を受けられない子どもたちや、学校に行っても十分な教育を受けられない子供たちに必要な教材を提供しています。また校舎の整備や教員の育成にも取り組んでいます。より多くの子どもたちが教育を受けられる環境が必要なのだと改めて思いました。また教育の一環として、職業訓練も行なって、将来仕事につけるようにしています。

### ◇ 私たちの感想

私たちがフィールドワークを通して感じたのは、貧困地域の教育についてまだまだ知らないことが沢山あって、詳しく学んでいくことで何か行動を起こして早急に変える必要がある、ということです。

学校を通しての募金も今までは、何に使われているのかあまり分かっていませんでした。ですが、ユニセフ協会に伺って、お話を聞き、募金で購入されている実物をいろいろ拝見させていただく中で、環境の整っていない地域でも使用できるよう工夫されているものや、教育的物資だけでなく生きていくために必要な物資にも寄付金が使われていることが分かりました。お話を聞いた中でも特に驚いたことは、5秒に1人、世界のどこかで子供が死んでいるということです。その理由は様々であり、私たちでは考えられませんが、汚染された水をそのまま飲み、下痢で死んでしまうこともあるそうです。

このように、私たちの知らない世界的な貧困、教育問題は多々あります。一つからでも解決していけるように、小さなことの積み重ねが大切だと思います。

SDGsのロゴより

4 質の高い教育を  
みんなに





## 今回は、2年2組5班によるフィールドワークの報告します。

### ◇ 関市役所協働推進部市民協働課を訪問し、男女間の格差について学びました！

日時：2018年8月17日(金)13:00 ~ 14:00

訪問先：関市役所協働推進部市民協働課

内容：男女間における様々な格差について

参加者：土屋 健太郎 磯部 涼

### ◇ 関市役所の方との話



関市役所の協働推進部市民協働課の後藤さん、海老さんに、なぜ市役所が女性の活躍推進に取り組んでいるのか、関市の待機児童問題、男女の給与格差についてお話を伺いました。また、格差のほかにも男女という性に関わって、セクハラやLGBTについても男女間や世代によって、イメージのとらえ方に大きな違いがあるということをお話していただきました。他にも育児休暇の期間や取りやすさ、妊娠、出産後の女性に対しての処遇について説明していただき、関市の現状を詳しく知ることができ、自分たちの発表に役立てることができました。



### ◇ 私たちの感想

僕たちの班の研究テーマである『格差』は、世界や日本の経済的な場面だけではなく、男女間においても存在し、意外と身近なものです。このような格差が少しでも減っていけばよりよい社会になっていくと思います。

今回のフィールドワークを通して感じたことは、やはりまだまだ男女間の格差というもの存在しているが、少しずつ改善に向けて様々なところで多くの取り組みが行われているということです。私たちも日ごろから当たり前と思っている男女のイメージについて、それは本当に正しいものなのか、古い慣習や考えにとらわれているにすぎないのではないか、など問い直すことが必要だと感じました。そして、自分たちが住んでいる地域の格差問題やその対策について知ることが不可欠だと思いました。



SGH のロゴより

## 今回は、2年2組7班による森林アカデミーフィールドワークの報告します。

◇岐阜県立森林文化アカデミーを訪問し、植林について学びました！

日 時： 2018年 8月7日(火) 10:00~12:00

訪問先： 岐阜県立森林文化アカデミー

内 容： 植林と海のつながりについて

参加者： 佐藤凜 杉下泰作 井口葉澄 村田桃香 山田真奈美 波頭香実

### ◇内容

私たちは、海なし県にできることとして、ネットを使って調べ海を改善するために何が  
できるか考えました。その中で、植林が関係していることを知りました。

そこで、森林文化アカデミーで教授をなさっている柳沢直先生に話を伺いに行きました。そこ  
で、里、森林、川、海のつながりから植林がどのような影響があるか学びました。

海なし県にできるこ  
ととして植林すること  
はとても大切ですが、  
私たちは森林の手入れ  
をすることは難しいで  
す。そこで、プラスチ  
ックごみなどの分解さ  
れにくいごみをポイ捨  
てしないことなど、些  
細な事を意識して変え  
ていく必要があること  
を学び再確認するこ  
とができました。



### ◇ 私たちの感想

私たちは‘海なし県にできること’をテーマに掲げ、  
研究活動を行っています。

今回のフィールドワークでは、植林について話を聞きました。  
岐阜県には海がないので植林をすることで海をきれいに  
できるのではないかと考えていましたが、話を聞いてた  
だ植林をするだけでは意味がないということが分かりまし  
た。植林には管理が必要なのです。管理とは、太陽の光が  
当たるように高くなりすぎた木を切ること、物理的、社会  
的な環境の特性に合わせること、等です。

でも私たちが直接それを行うことはできません。だから、  
エコバックを使ったり、今ある森林を大切にしたり、今で  
きることをすることが大切です。

皆さんも、些細なことから始めてみませんか？



SDGs のロゴより